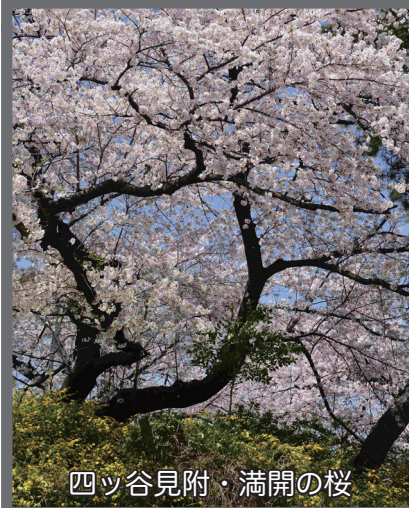




東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No. 80

2016年4月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

安倍政治を許さない!

5・3 憲法集会

昨年9月19日に強行成立された安保法制は、3月29日に施行されました。戦争できる国へ大きな転換です。安倍政権は、原発の再稼働、沖縄県民の民意を無視した辺野古新基地建設、教育の国家統制強化、マスコミに対する規制強化など、平和のち、人権を保障する憲法の精神と原則をふみにじる政策を進めています。さらに、夏の参議院選で改憲勢力を3分の2に増やし、「憲法改悪」を現実化しようと企んでいます。安倍政治を許さないため、大きな共同行動として5月3日に憲法集会が開催されます。是非参加ください。



昨年の憲法集会 (横浜)

5・1 日比谷メーデー



昨年の日比谷メーデー

アベノミクスで景気回復? とんでもない、貧困と格差が拡大しただけです。実質賃金は毎年下がり続け、零細下請企業は切捨てられています。アベノミクスの頓挫に焦る安倍政権は「同一労働同一賃金」を言い出しました。「世界一企業に有利な国」を目指す安倍政権の「同一賃金」は、正規雇用の賃下げに作用する危険が高いでしょう。総資本と安倍政権に真っ向から反撃することが、今年の日比谷メーデーの基本課題です。5月1日の日比谷メーデーは、現役との共闘の場です。退職者会は今年も全力です。奮って参加ください。

今年の「演芸を楽しむ会」は、国立演芸場の3月中席。3月17日、家族を含め14名が参加。直前に体調不良や家族の関係で複数の方が参加できなくなり、いつもより減りました。

看板は古典落語に定評のある春風亭小柳枝、新作ものを得意とする中堅の桂幸丸と春風亭柳之助。肝心の小柳枝は声が低くて話しがわかりずらいところがあり、ちよつと残念。期待通りだったのはむしろ柳之助、歌謡曲の物まねを入れ

演芸を楽しむ会 今年も大好評

た落語は本当に面白く、爆笑に継ぐ爆笑。曲芸、漫才、奇術、曲独楽や若手の落語などで3時間余の上演時間でしたが、十分楽しめ、参加者からは、全体的には好評でした。

今回は、これまで落語協会系の番組を選択していましたが、落語芸術協会系の番組にしてみました。他の行事との関係で例年2月か3月に行っているのですが、系列や看板の落語家の選択、開催時期を含めて、参加者から

も改めて感想を聞き、来年以降どうするかを考えていきたいと思います。(庄司)

国立演芸場3月番組

中席

11日(金)・20日(日)
1時開演 18日(金)は1時と6時の2回



春風亭 小柳枝

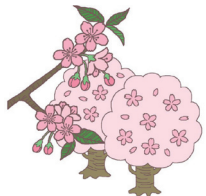
落語	曲芸	落語	奇術	落語	曲芸	落語	漫才	落語	桂枝
春風亭 小柳枝	やなぎ 小柳枝	春風亭 小柳枝	マツタケシエミ	桂枝 幸丸	春風亭 小柳枝	春風亭 小柳枝	宮田 夏丸	三笑亭 夏丸	桂枝 幸丸

開演	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

退職者会 活動日誌

＊2月9日第4回幹事会から3月8日第9回三役会まで
▼2月9日、幹事会の後、旅行部会と企画部会。旅行会、お花見ウォーク等検討。
▼2月11日、日本教育会館で「憲法と建国記念の日を考える集会」。2名参加。
▼2月16日、清掃会館で東京清掃退職者送別会。参加者は例年より多く楽しい会に。
▼2月17日、田町交通で狭山事件の再審を求める東京集会。3名参加。
▼2月17日、主婦会館で東京清掃一組

総支部新春交歓会。庄司事務局長が参加。▼2月19日、東京総行動・けんり春闘経団連抗議行動に1名参加。▼2月19日、戦争法廃止！安倍内閣退陣！国会前行動に9名参加。▼2月21日、止めよう！辺野古埋立国会大包围に7名参加。▼2月23日、歩こう会「港区・大使館スタンプリー」に5名参加。テレビでも報道された場所を巡る。▼3月6日、7日、箱根で都退協学習会。柳副会長が参加。▼事務局会議・事務業務は4回実施。



第9回定期総会 5月27日開催

第9回定期総会を5月27日一任状を提出していただきます。

第9回定期総会

〈日時〉 5月27日(金)
午前10時受付
〈場所〉 清掃会館ホール
〈議案〉 ①活動方針(案)
②10周年事業(案)
③旅費改正(案)
④会計予算(案)

総会懇親会

〈日時〉 5月27日(金)
12時30分(総会終了後)
〈場所〉 清掃会館ホール

ください。出欠連絡の返信用ハガキを必ず送ってください。参加できない方は返信用ハガキに印刷してある委

都庁退 学習会

原発・石炭火力を排し
自然エネルギーへの転換
へ、電気を選んで社会を
変える絶好のチャンス



要があるが機器は無料。
なお、賃貸やマンショ
ンでは、一括契約の場合
は管理組合等との調整が
必要になる。

電気の安定供給体制は

3月30日、都庁職員退職者
連合会（都庁退）の学習交流
会が都庁で開かれました。

講演のテーマは「電力自由
化を考える」、講師は自治退事
務局長の川端さん。主な内容
は以下のとおりで、結論は「少
なくとも東電との契約は止め
よう」でした。

電力会社を選べることに

戦後長らく、9電力会社（プ
ラス原発を持たない沖縄）に
よる地域独占体制が続いてき
たが、4月から一般家庭も電
力会社を選べるようになった。

電力自由化で、CO₂削減の絶
好の機会と、原発由来の電力
を買わないという選択肢がで
きた。買わないことで脱原発
に市場で関与できる。

自由化で停電の心配は？

どこの電力会社から電気を
買っても停電は起きない。送
配電網管理会社が調整する
からだ。また、新電力会社が倒
産しても現電力会社が電気を
供給するので止まらない。電
線は現在の送配電線が使われ
る。新電力会社と契約する場
合、スマートメーター（自動
検針、住宅用エネルギー管理
用の電力量計）を設置する必

電力会社と経産省の逆襲

維持されるが、送られる電気
は原発からも自然エネ発電か
らの電気も一緒になっている
ので、自然エネの電気だけを
送ってもらうことはできない。

発・送電分離が真の自由化

の条件だが、現在の分離は「会
計分離」で「なんちゃって分
離」。親会社の利益が優先され
る。新電力会社は電力会社が
支配する電線を使うしかない。
電力会社と経産省が結託して、

①低圧電力に不利な託送料金、
②接続可能量設定等自然エネ
に厳しい条件を付け、自然エ
ネルギー普及を妨害している。
自然エネ由来電源の拡大に
は、どのような電気を買って
いるのか消費者に見えるよう
にする電源構成表示の義務化
が必要だが、大手電力と経産
省は義務下を後退させた。消
費者の声を強める必要がある。

新規参入会社もいろいろ

新規参入会社の形態は、次
の3つに分類される。

- ① 自前で発電、自社営業↓東
京ガス、石油会社など
- ② 電気を仕入れ、自社商品と
セット販売↓通信会社、東
急、ローソンなど
- ③ 契約者限定↓生協、地域共
同事業体など

ソフトバンクは東電から買
う。東急も東電から買うだ。

自然エネ普及を目指すNG
Oは、現在12社を推奨してい
るが、現時点では十分供給で
きる能力に乏しい。10月頃ま
では相当な能力を持つとみ
られる。まだあわてる必要は
ない。じっくり見定めよう。

原発と石炭火力由来拒否

電力販売会社選択のポイント
は5つ。①電源構成等の情
報開示、②自然エネルギー中
心の電源調達、③原発・石炭
火力不使用、④地域・市民に
よる自然エネルギー重視、⑤
大手電力会社と資本関係なし。
市民が自然エネを選べば、
市民の力で原発を拒否できる。

昭和運輸不当解雇撤回闘争 被解雇者3名を職場へ戻せ

自治労昭和運輸不当解雇撤回闘争支援共闘会議による裁判闘争支援集会在、3月10日、清掃会館で行われ、109名が参加しました。

宮本支援共闘議長が「昭和運輸は、今年1月1日を基準日として自主的に『労供労働者』43名の厚生年金加入申込

書を期限である今日、葛飾年金事務所に提出した。これにより、2年間遡及しての保険料支払いが免除されて、社会保険が適用されることとなった。」等と挨拶しました。

中野弁護士は「昭和運輸は偽装労働者供給事業によって3名の不当解雇を行った。会社側は、3名を雇用していないので解雇でないとしている。労働者の雇用責任がどこにもない。こんなことが許されていないのか。何としても3名を職場に戻そう」と訴え、細川弁護士は「4月18日と4月25日の東京地裁631法廷、午後1時15分からの裁判山場傍聴支援」の要請をしました。

原告団からは「自分たちにかけられた不当な解雇を撤回させて、職場に必ず戻る」と闘いの決意が示され、集会参加者は、昭和運輸不当解雇撤回闘争支援にむけて、団結を固めました。(宮本恒雄)



原発のない未来へ!



安倍の暴走を許さない!

安保関連法(戦争法)の強行採決から半年にあたる3月19日、「戦争法廃止!安倍政権の暴走許さない!総がかり日比谷大集会」が開催され、雨にもかかわらず約6千人が結集、法の廃止を訴えました。戦争法が施行された3月29日、「閣議決定抗議!国会前大集会」に3万7千人が駆け付けました。民進党、共産党、社民党、生活の党が連帯の挨拶、野党共闘の力で参議院選に勝利し、安倍内閣を退陣に追い込む等の決意が述べられました。勝負は参議院選です。安倍退陣、戦争法廃止へ闘い続けましょう。

福島原発事故から5年、安倍政権は各地で原発を再稼働させようとしています。3月26日、代々木公園で「原発のない未来へ!全国大集会」が開かれ、3万5千人が「安倍政権NO!」の声を上げました。福島現地の「政府による強制帰還、賠償打ち切り」抗議や、愛媛県の「県民の3分の2が伊方原発再稼働反対」等の報告に続き、戦争法廃止や、辺野古新基地建設反対の現地報告等がありました。集会後、原宿・青山方面等3コースへ向けデモ。「原発再稼働反対!」「安倍政権退陣!」等を訴えました。